

**お知らせ**

記者発表資料

令和元年7月26日

■同時発表先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

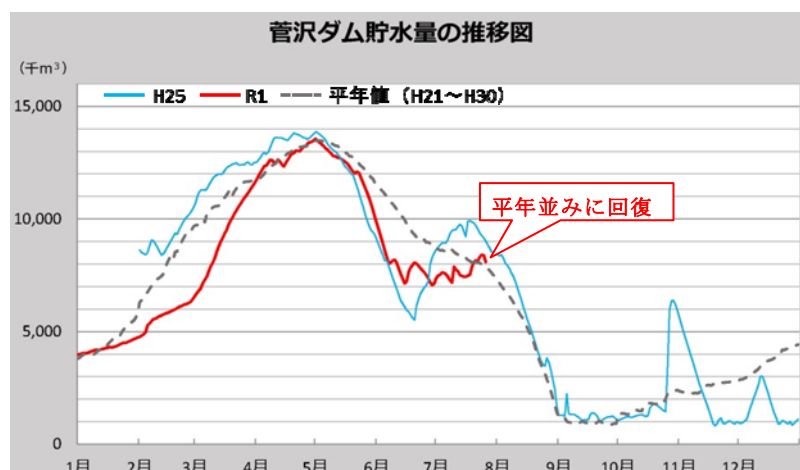
**7月26日（金）12時に**

**「中国地方整備局渇水対策本部」を解散**

**～今回の降雨によりダム貯水量が平年並みに回復～**

中国地方整備局では、6月13日に「中国地方整備局渇水対策本部」を設置し渇水対策を進めてまいりましたが、先週末からのまとまった降雨により広域にわたる渇水の影響はなくなったものと判断し、中国地方整備局渇水対策本部を解散しました。

- 中国地方整備局では、日野川水系、斐伊川水系の広域にわたる渇水に対応するため、6月13日に「中国地方整備局渇水対策本部」を設置し渇水対策を進めてまいりました。
- 日野川水系では7月18日以降のまとまった降雨（流域平均累加雨量約110mm）により日野川の流況が改善し、菅沢ダムの貯水率も約60%（26日0時時点）と平年並みに回復したため、7月26日（金）12時に取水制限を正式解除するとともに日野川河川事務所の渇水対策支部を解散しました。
- なお、出雲河川事務所（斐伊川）では、今後も農業用水の取水が行われるため、いましばらく監視する必要があることから渇水対策支部を継続します。
- 節水にご協力いただきありがとうございました。



<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) : (平日・昼間)

(担当) 河川部 河川保全管理官 かわもと ようじろう 川本 洋次郎 (内線3519)

(広報担当窓口)

広報広聴対策官

いわした やすひさ 岩下 恭久 (内線2117)

企画部 環境調整官

さかもと やすまさ 坂本 泰正 (内線3114)

## 渇水対策の実施状況

### ◇取水制限等

中国地方整備局管内の一級河川における取水制限等の状況は下記のとおりです。

#### ○日野川水系 日野川

- ・第1次 令和元年 5月31日～ 上水 5%、工水 5%、農水 5%
- ・第2次 令和元年 6月 6日～ 上水 10%、工水 10%、農水 10%
- ・一次解除 令和元年 6月 7日～
- ・正式解除 令和元年 7月26日

8日間

#### ○斐伊川水系 斐伊川

上島地点確保流量

- ・第1次 令和元年 6月13日～ 30%減量
- ・解除 令和元年 6月17日～
- ・第1次（再開） 令和元年 6月26日～ 30%減量
- ・解除 令和元年 7月19日

継 続 中

### ◇自主節水

#### ○芦田川水系 芦田川

- ・開始 令和元年 6月 4日～ 工水 10%
- ・解除 令和元年 7月 2 3日

### ◇渇水対策支部等の設置状況

中国地方整備局管内の事務所における渇水対策支部設置状況は下記のとおりです。

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| ○日野川河川事務所渇水対策支部<br>(日野川) | 設置 令和元年 5月31日 |
|                          | 解散 令和元年 7月26日 |

57日間

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| ○出雲河川事務所渇水対策支部<br>(斐伊川) | 設置 令和元年 6月13日 |
|                         | 継 続 中         |

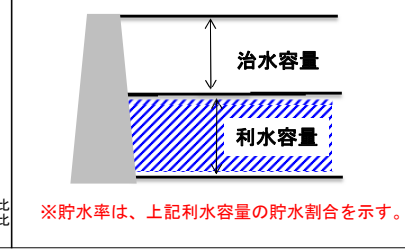
- |                |               |
|----------------|---------------|
| ●中国地方整備局渇水対策本部 | 設置 令和元年 6月13日 |
|                | 解散 令和元年 7月26日 |

44日間

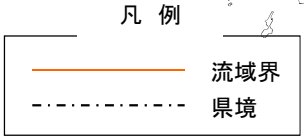
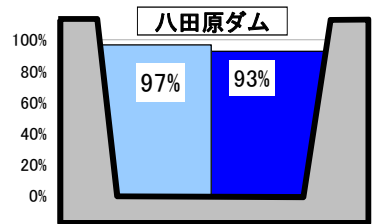
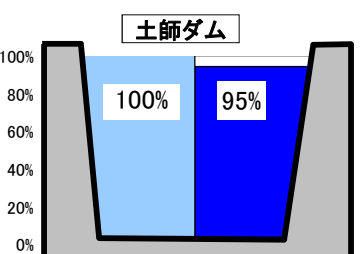
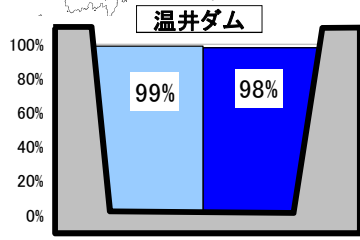
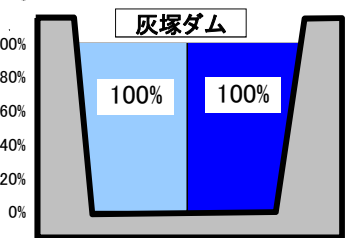
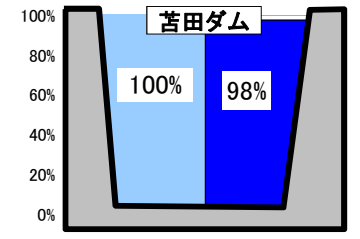
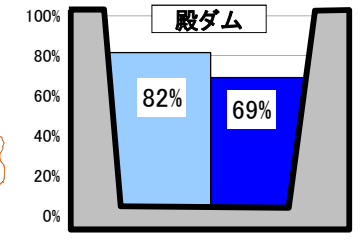
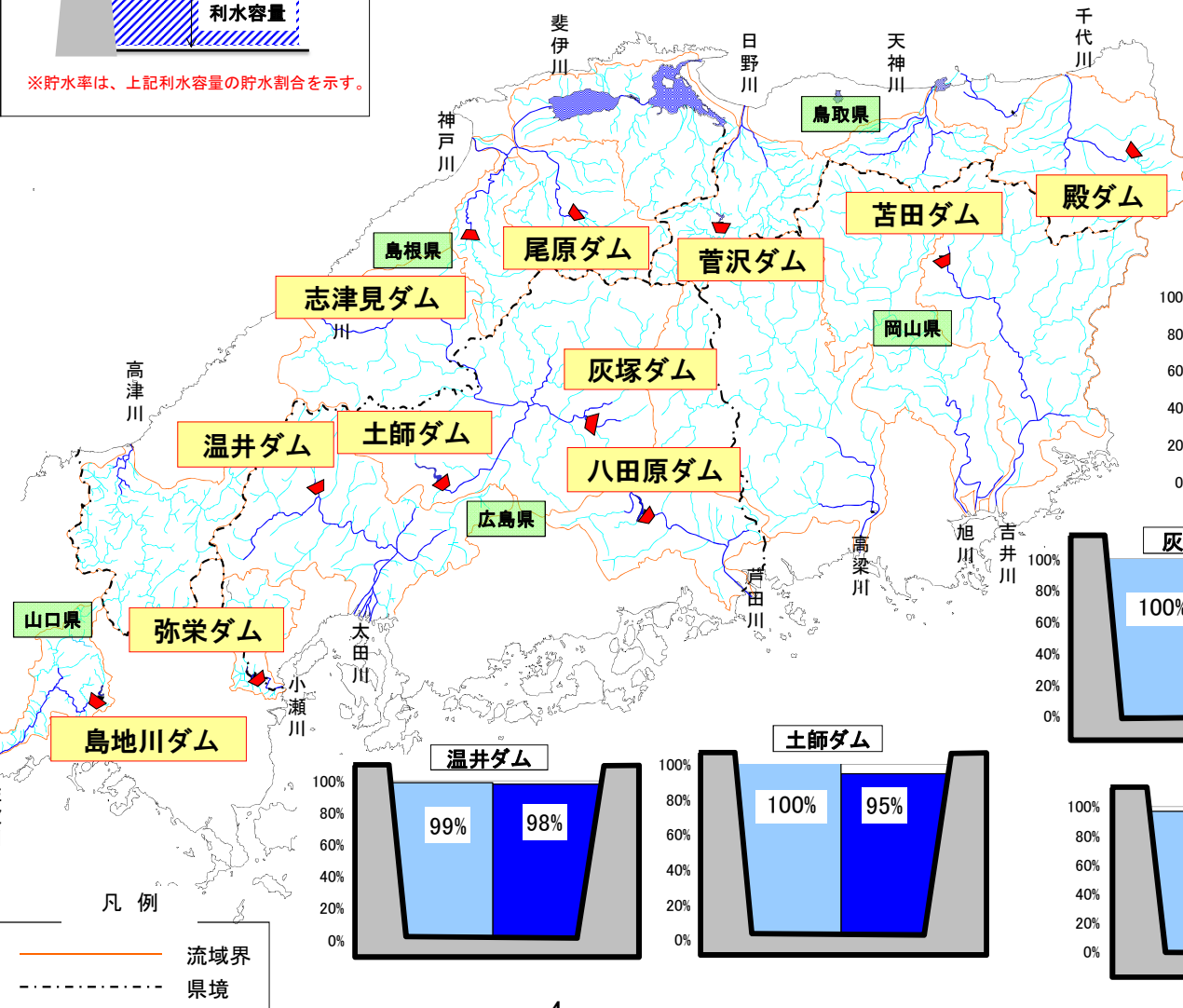
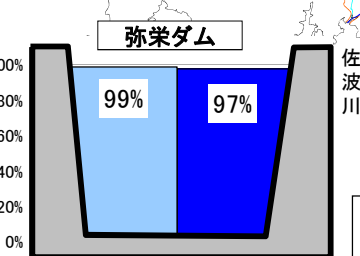
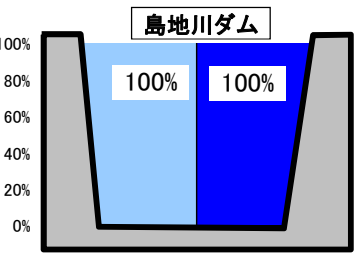
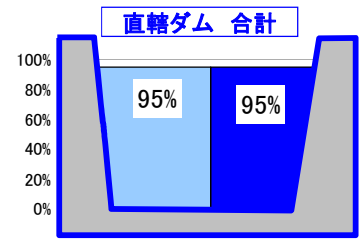
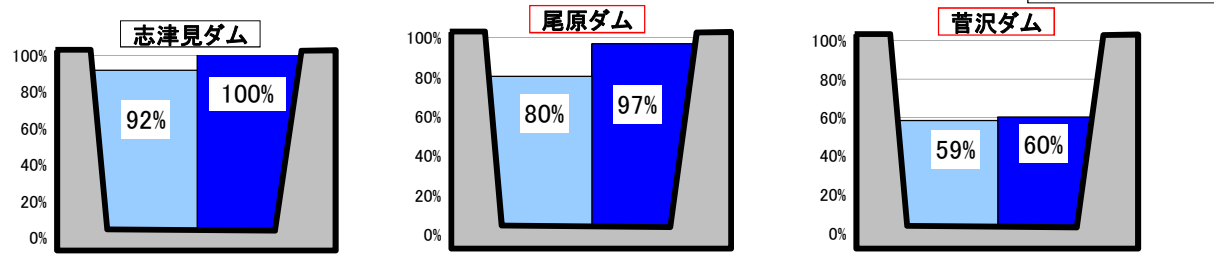
# 中国地方の直轄ダム貯水量状況（利水容量） （令和元年 7月26日 0:00時点）

参考資料-2

## 凡例



\*志津見ダム、H23~H30の貯水量との比  
\*尾原ダム、殿ダム、H24~H30の貯水量との比  
\*その他のダム、H21~H30の平均貯水量との比



# 向こう1か月の天候の見通し

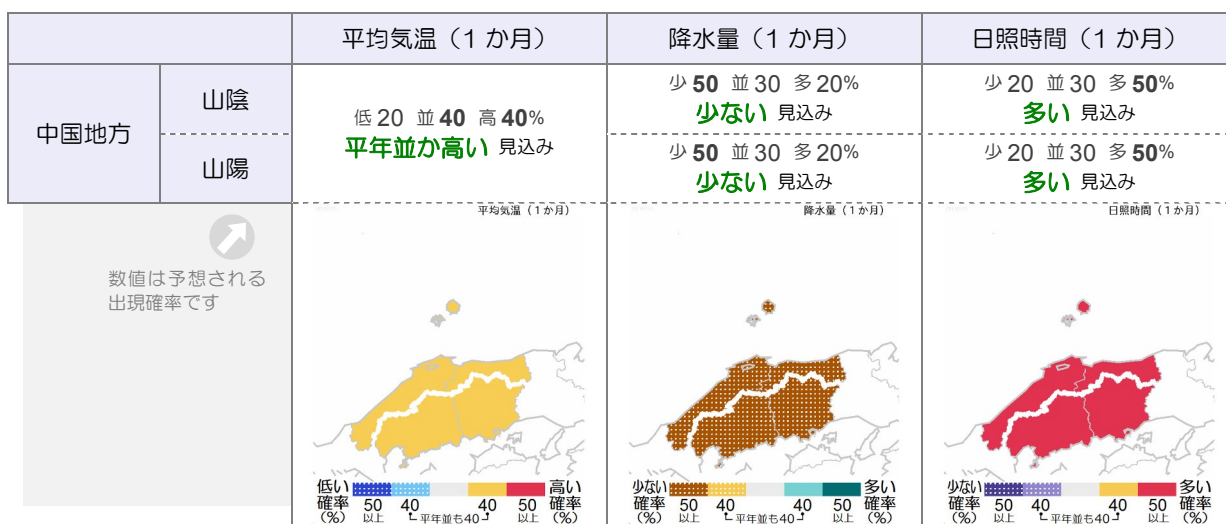
## 中国地方（7月27日～8月26日）

広島地方气象台

### 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、1週目と2週目の気温は平年並か高いでしょう。向こう1か月を平均した気温も平年並か高い見込みです。
- 高気圧に覆われやすいでしょう。このため、向こう1か月を通した降水量は少なく、日照時間は多い見込みです。

### 1か月の平均気温・降水量・日照時間







### 週別の天候

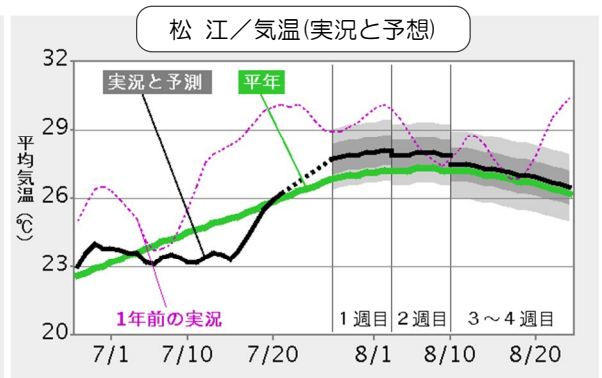
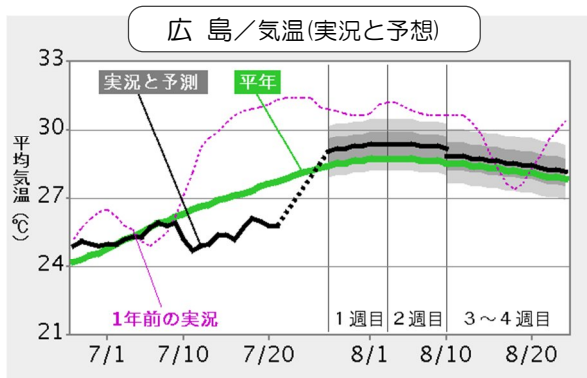
（1週目） 7/27～8/2	（2週目） 8/3～9	（3～4週目） 8/10～23
高気圧に覆われやすいでしょう。 このため、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。	高気圧に覆われやすいでしょう。 このため、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。	高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/jp/week/>）を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

## 週別の平均気温

	平均気温（1週目） 7/27～8/2	平均気温（2週目） 8/3～9	平均気温（3～4週目） 8/10～23
中国地方	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です	平均気温（1週目） 	平均気温（2週目） 	平均気温（3～4週目） 
	低い確率（%） 50 40 平年並も40% 40 高い確率（%） 50	低い確率（%） 50 40 平年並も40% 40 高い確率（%） 50	低い確率（%） 50 40 平年並も40% 40 高い確率（%） 50



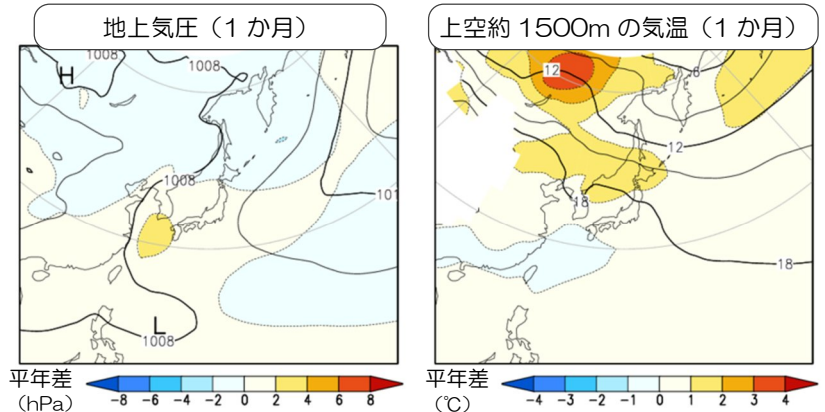
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php> で公開しています。

↑ 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

## 数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、カムチャツカ半島付近からバイカル湖の西にかけてと日本のはるか東から日本の南東海上にかけては平年より低い予想です。一方、その他の地域では平年より気圧が高く、東シナ海では明瞭となっています。日本付近では東・西日本を中心に気圧が高く、高気圧に覆われやすい見込みです。

上空約1500mの気温（右図）は、華南から東シナ海付近にかけては平年より低い予想です。一方、その他の地域では平年より気温が高い予想です。

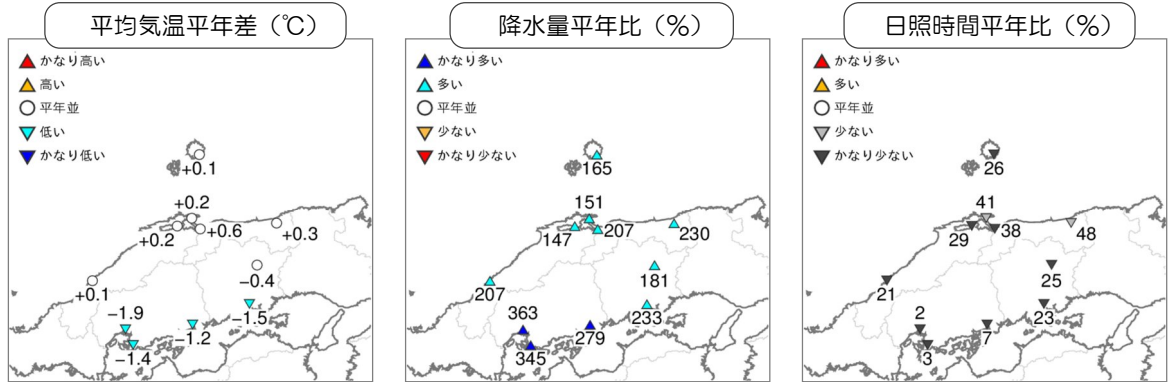


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

7/18~24

梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。梅雨前線の活動や湿った空気及び上空の寒気の影響が強まり、大雨となった日がありました。日照時間はかなり少なく、山陽の降水量はかなり多くなりました。



（実況）7/18~24		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	山陰	-0.4℃（平年並）	185%（多い）	34%（かなり少ない）
	山陽		280%（かなり多い）	12%（かなり少ない）

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温（1 か月）	平均気温（1 週目）	平均気温（2 週目）	平均気温（3-4 週目）
中国地方	平年差：-0.4~+0.6℃	平年差：-0.2~+1.0℃	平年差：-0.3~+0.9℃	平年差：-0.4~+0.6℃
松江	26.5~27.7℃	26.7~28.1℃	26.7~28.3℃	26.2~27.5℃
広島	28.1~29.0℃	28.2~29.4℃	28.2~29.4℃	27.8~28.8℃

	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
山陰	平年比：60~111%	平年比：88~118%
山陽	平年比：53~97%	平年比：90~115%
松江	59.5~108.2mm	157.7~220.2 時間
広島	46.9~111.6mm	176.6~220.4 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	17.6 日	7.9 日	4.6 日	1.7 日	4.7 日	1.7 日	8.5 日	4.5 日
広島	18.8 日	6.3 日	4.8 日	1.4 日	4.8 日	1.4 日	9.1 日	3.4 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50% 以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50% 以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50% 以上	低い（少ない）見込み